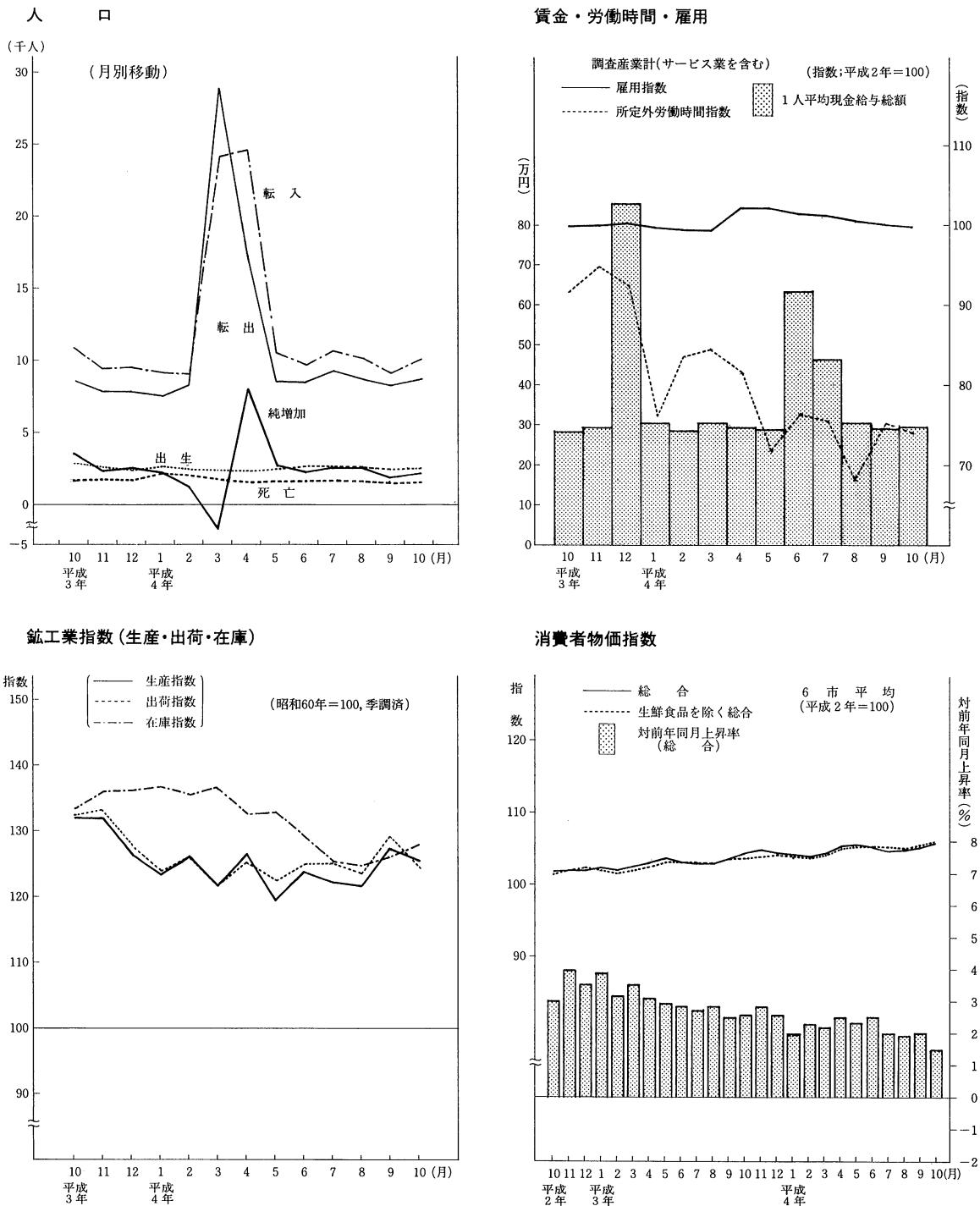


●今月の主な動き

今月の主な動き



oooooooooooooo 今月の主な動き ●

主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人口(11月1日)

本県の人口は、10月中旬に2,201人増加し、11月1日現在で2,906,749人(男1,451,979人、女1,454,770人)となった。

内訳は、自然動態で900人(出生2,534人、死亡1,634人)増加し、社会動態で1,301人(転入10,148人、転出8,847人)増加した。前年同月と比べると26,169人(0.91%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が16市44町村、減少が4市20町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても10月中旬に1,315世帯増加し877,643世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(10月)

1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で291,327円、対前年同月比3.0%増、このうち、きまって支給する給与は290,383円、対前年同月比3.4%増であった。また、このうち、所定内給与は264,393円、対前年同月比5.5%増であり、超過労働給与は25,990円、対前年同月比13.6%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比1.6%増であった。

* この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で171.4時間、対前年同月比1.8%減であった。このうち、所定内労働時間は157.0時間、対前年同月比4.1%増、所定外労働時間は、14.4時間、対前年同月比18.6%減であった。

3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)(10月分)

本県における平成4年10月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が125.8、出荷が124.9、在庫が128.2で、前月比は、生産が△1.5%の低下、出荷が△3.4%の低下、在庫が1.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△4.7%の低下、出荷が△5.6%の低下、在庫が1.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、その他工業、パルプ・紙・紙加工品工業、プラスチック製品工業等が上昇し、非鉄金属工業、精密機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では、その他工業、繊維工業、輸送機械工業等

が上昇し、非鉄金属工業、一般機械工業、精密機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品工業、金属製品工業等が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財、非耐久消費財が低下した。出荷では、耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。在庫では、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数(10月)

平成4年10月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.9(平成2年=100)となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比1.5%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物7.8%、衣料3.9%、乳卵類3.1%、穀類1.7%、シャツ・下着1.7%、生地・他の被服類1.1%

今月の下がった主な項目……野菜・海草2.9%、菓子類1.0%

生鮮食品を除く総合は106.2となり、前月比は0.4%の上

昇、前年同月比は2.5%の上昇となった。

費目別指標 (平成2年=100)

区分	指 数	上昇率(%)		区分	指 数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.9	0.4	1.5	保 健 医 療	102.4	0.1	2.5
食 料	105.6	0.2	△1.2	交 通 通 信	99.6	0.0	△0.9
住 居	110.7	0.4	6.1	教 育	106.1	0.0	3.4
光 熱 ・ 水 道	102.9	0.0	0.6	教 育 娯 楽	107.7	0.2	2.9
家 具 ・ 家 事 用 品	101.7	0.2	1.1	諸 雑 費	103.7	0.2	2.1
被 服 及 び 履 物	112.5	2.4	4.2	生 鮮 食 品 を 従 総 合	106.2	0.4	2.5